



市では、平成24年度から「協働のまちづくり推進事業」として、地域の皆さんと協力しながら、各小学校区における協働のまちづくり事業の取組みを推進しています。

各校区で、「校区協働のまちづくり組織」が設立され、具体的な取組みが進んでいます。今回は、「御原小学校区」の取組みを紹介します。

御原小学校区協働のまちづくり準備会の取組み



御原校区の特性を5段階で評価

平成25年10月、「御原小学校区協働のまちづくり準備会」が発足しました。

この準備会発足前の平成25年5・6月に2回のワークショップを開催し、各行政区、PTAなどの役員で御原小学校区の特性や取り組むべき地域課題について話し合いました。ワークショップの中で、「災害時に備えて、自主防災の体制づくりや訓練を行うべきだ」という意見が多く出され、防災研修として図上訓練を実施することを決めました。

訓練では、御原小学校区の地理的特性を考慮した九州北部豪雨規模の風水害を想定。各行政区ごとに班編成を行い、自分たちが住む地域の地図に、危険箇所や災害時の拠点施設などの情報を記入し、その地図をもとに、被害状況の把握、避難経路の選定などの対応策をグループで話し合いました。

図上訓練とは？

地域の危険箇所や災害予想箇所を想定し、被害を軽減するために、個人・組織としてどのような対策を行うかを考える訓練

1. 地区情報図の作成

- ・危険箇所や危険物施設(危険物の貯蔵施設など)
- ・公的機関や災害時の拠点場所(避難所、警察など)
- ・防災で役立つ施設(防災倉庫、防火水槽など)
- ・支援の必要な要援護者宅

2. 災害想定地図の作成

- ・どんな被害が起こっているのか？(浸水、通行止め等)
- ・安全な避難経路は？
- ・要援護者の避難支援に必要なことは？



1月に開催した御原校区防災図上訓練



**こうした研修や訓練を校区全体で行うことで
各行政区に設置する自主防災組織の設立を
推進していきたいと思います。**



御原小学校区協働のまちづくり準備会
山下幸博 会長